

# 日誌

日誌 06月02日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	受付
		受付
	10:00	受付
		残薬調整
	11:00	服薬指導見学
		服薬指導
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	受付
		勉強会
	14:00	薬歴
		受付
	15:00	受付・調剤
		受付・調剤
	16:00	服薬指導
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 06月02日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

ノルスパンテープの保管方法について途中まで調べた。ノルスパンテープの主成分はブプレノルフィンである。ブプレノルフィンは向精神薬の第2種に分類される。向精神薬の第2種は、カギのついた場所で保管し、他のものと区別して管理しなければならない。

コロナの患者さんの服薬指導を見学した。ラゲブリオが処方されていたので、開け方を詳しく説明していた。コロナ患者さんは、少し工夫が必要であることを学んだ。処方箋を受け取った後、普段は薬局内で待っていただくが、他の患者さんもいるため外のベンチで待っていただいた。また、換気をするために入り口のドアを開けっぱなしにする工夫もある。服薬指導をする前に、薬を薬袋に入れるなど、最低限の準備をした。服薬指導の際には、薬の説明は簡潔にするなど、接触する時間を可能な限り減らしながらお話しした。終了後、マスクを捨てたり、手洗い・うがい・消毒を行った。

服薬指導を2件担当した。アムロジピンが処方されている患者さんとコニールとマグミットが処方されている患者さんだった。アムロジピンについては、血圧どうでしたかと患者さんに質問した。しかし、これは医師が血圧に数値をみて処方薬の種類や量を判断しているため、数値について質問しなくてもよい場合もあるのではないかと教えて頂いた。血圧の数値を聞くよりかは、「処方が変わっていませんが、血圧あまり変化ないですか」の方が、より患者さんもお話して下さると考えた。マグミットについては、1回1錠を1日3回の処方だったが、患者さんから、「朝1錠、夜2錠飲んでもいいか」と質問された。

エンレストの勉強会に参加した。役員の方から、どのような効果の薬であり、作用機序や用法用量、臨床結果などのお話を聞いた。指導薬剤師や薬剤師の方たちがたくさん質問していた。勉強会には参加したことがなかったので、良い経験になった。

売り切れだったが、OTC対応を見学した。

# 日誌

日誌 06月02日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 06月02日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>アムロジピンが処方されている患者さんに副作用の症状が出ていないか確認することができなかった。指導薬剤師の方が質問していて、アムロジピンの副作用について調べたことを思い出した。この患者さんは血圧ノートを持っていたが、カバンにしまおうとしていたので、受け取らなかった。持参していたら確認する。アムロジピンの添付文書を確認すると、最高血中濃度の到達時間は服用してから約6時間後だった。また、朝から昼間にかけて血圧が上がり、夜や睡眠中はが血圧が低くなると講義資料に書いてあった。この患者さんは夕食後に服用なので、服用する前に血圧を測定すると考えたのですがどうでしょうか。</p> <p>前回の薬歴で症状を確認すると書いてあったが、どのような症状なのかわからなかったもので、具体的な症状を書こうと感じた。</p> <p>コロナの治療薬であるラゲブリオ、服薬指導で触れたコニール、マグミッドについて添付文書を確認し、自分なりに整理に理解する。</p> <p>OTC対応の際に売り切れていたアリナミンVゼロとコーラックについて、どのような成分であり、どのような使い方か、注意すべき点について調べる。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>&gt;コロナ患者さんは、少し工夫が必要であることを学んだ。 そうですね。感染症がわかっている患者さんであればできる限りの感染対策をとっておきたいと考えているためですね。 つまり、感染症感染経路で対策が変わるのかもしれませんがね。</p> <p>&gt;朝から昼間にかけて血圧が上がり、夜や睡眠中はが血圧が低くなると講義資料に書いてあった。 これはすべての患者さんに当てはまりそうですか？ あ、せっかくなら昨日の勉強会でメーカーさんに聞いてみたらよい質問だったかも！</p> <p>&gt;血圧ノートを持っていたが、カバンにしまおうとしていたので というより、見ても良いよ～という仕草に私は感じました。 見せたくなければ出してもくれないでしょうし。</p> <p>良いですね～なんだか、より実践的な日誌になってきましたね。 中崎さんの備忘録として読み返して読みごたえがある物になると良いですね！ 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 06月03日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.9 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	処方監査
		一包化
	10:00	処方監査
		一包化
	11:00	一包化
		服薬指導
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	スインプロイク
		デパケン
	14:00	心不全
		心不全
	15:00	薬歴
		薬歴
	16:00	日誌
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(2)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 06月03日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

2件の一包化をした。最初に処方内容の問題がないか監査した。リピトール錠5mgが1錠処方されていた。添付文書を確認すると成人には10mgを1日1回経口投与すると記載されていた。添付文書の用法用量より少なかった。添付文書の薬物動態の項目を調べると、10mgで実施していた。試験の際に基準となった量が、用法用量として扱われることが多い。今回、添付文書の用量用法より少ないのは、5mgでも効果があったため使用続けていると考えられると教えていただいた。

領収書（領収書で合ってますか）をみしてもらい、バラシクロビルとアメナリーフの薬価の違いを見た。約4000円ほどの違いがあった。お米が買えると話した。医師が処方する際に、患者さんにどちらが良いか選ばせるべきである。患者さんにその話がされたかを確認し、話がされていなかった場合、患者さんに先生に連絡することも可能であると伝えることも薬剤師としての仕事だと教えていただいた。

服薬指導は眼科を受診した患者を担当した。目の症状はどうですかと聞いた。抗菌薬とステロイドが長期使用しているため、副作用の心配がある。その治療期間がいつまでも想定しているのかという視点を教えていただいた。

スインプロイクの添付文書を確認するとオピオイド誘発性便秘症であることがわかった。

デバケンのはてんかんの治療薬であり、片頭痛の発作抑制の作用もあると教えていただいた。片頭痛は症状として、嘔吐もあると講義資料から調べた。

心不全に関するHErEF（ヘフレフ）やHEpEF（ヘフペフ）、ファンタスティック4について教えていただいた。

昨日担当したマグミットが処方されていた患者さんの薬歴を書いた。その際に、酸化マグネシウムの体内で起こる化学反応式を教えていただいた。この患者さんは憩室炎になったことがあった。

# 日誌

日誌 06月03日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 06月03日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>真のエンドポイントについて話があったが、講義で習った時にあまりわからなかった。真のエンドポイントの他に、主要エンドポイントがあったことも思い出した。エンドポイントについての講義資料を確認する。</p> <p>レボフロキサシン、サンベタゾン、バラシクロビル、アメナリーフ、スインプロイク、デパケンについて、各添付文書を確認する。(服薬指導をしたのは、レボフロキサシンとサンベタゾン)</p> <p>マグミットの添付文書を確認すると、併用注意の欄にプロトンポンプインヒビターが記載されていた。併用注意の仕組みを理解する。</p> <p>HErEF (ヘフレフ)やHEpEF (ヘフペフ)、ファンタスティック4などをよく調べ、頭の中を整理する。心不全の患者さんが多い1日だったと感じた。心不全について理解する必要があると実感した。苦手です。</p> <p>憩室炎について、再発しやすいと聞いたので、これに加えて、症状や原因などについて調べておく。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>&gt;苦手です</p> <p>私もそうです。心不全の薬物療法は難しいです。</p> <p>ただ一旦理解してしまえば良いものなんだと思います。</p> <p>そこまで到達してしまえば、後は、患者さんへの服薬指導を通じて、いっそうの経験値になっていくと考えられます。</p> <p>以前の実習生で身近な人がまさに心不全だったことから、学びを深めたと言う事例があります。もし近しい人にそういった病気の履歴があったとしたら、お薬手帳などを見ながらディスカッションしてみるのも面白いかもしれません。</p> <p>と言うのも、心不全パンデミックと呼ばれる位心不全の方が増えてきているというのが日本の現状になっています。</p> <p>苦手でも前に進むとする姿はとても大切ですね</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 06月04日                      東邦大学                      学籍番号( 1021166                      )                      氏名( 中崎   優奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.9 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	調剤
		服薬指導
	11:00	調剤
		服薬指導見学
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	地元民対応
		薬歴
	14:00	在宅
		報告書
	15:00	薬歴
		薬歴
	16:00	日誌
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (2)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 06月04日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

処方監査をしてピックアップをした。メトホルミンが処方されており、添付文書を確認すると腎機能患者に対し、用法及び用量に関する注意が記載されていた。推算糸球体濾過量（eGFR）を基準としていたので、インターネットで計算してもらった。eGFRだけでなく、クレアチニンクリアランスも確認した方がよいと教えていただいた。

糖尿病の患者さんの服薬指導を担当した。ジアゼパムが不眠時の処方だったので、「ジアゼパムは飲みましたか」「どのくらい残っていますか」と確認した。この患者さんは他にも多くの薬が処方されており、薬を薬袋に入れている時間が無言になってしまうと感じた。そのため、「他のお薬はきちんと飲んでいますか」「血糖値どうでしたか」などと追加で質問した。すると、患者さんはたくさんお話をしてくださった。今まで行ってきた服薬指導の中で、1番会話が成立した服薬指導だったと感じた。

アレンドロン酸は週に1回服用する薬であるため、患者さんがいつ飲む日かをわかるようにするために、カレンダーに貼るシールがあることを教えていただいた。このような工夫を製薬会社が行っているのだなと感じた。

1件の在宅を行った。前回は、患者さん本人が不在だったため、顔合わせや服薬状況などの確認を行った。薬局に戻ってから、報告書を書いた。この報告書は、医師やケアマネジャーの方を閲覧するものなので、文章で書くことや言葉の使い方を意識することなど、社会人としてのマナーを薬剤師の方から教えていただいた。

ブドウ糖を食べさせてもらった。見た目は大きなラムネみたいだったが、味はあまり美味しくなかった。ラムネの方が美味しかった。

# 日誌

日誌 06月04日                      東邦大学                      学籍番号( 1021166                      )                      氏名( 中崎   優奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 06月04日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>半夏瀉心湯による肝障害の原因の成分は何か。半夏瀉心湯に含まれている成分は、ハンゲ、オウゴン、ショウキョウ、ニンジン、カンゾウ、タイソウ、オウレンの7種類の生薬であった。原因として挙げられる成分は、オウゴンではないかと考えました。</p> <p>メトホルミンとCT検査について。CT検査でヨード造影剤を使用する場合、腎機能低下の可能性がある。メトホルミンは腎排泄型薬剤であるため、添付文書の併用注意欄にヨード造影剤の記載がある。ヨード造影剤により腎機能が低下し、メトホルミンの排泄が低下する。これにより、乳酸アシドーシスのリスクが高くなると考えられました。</p> <p>ADL (Activities of Daily Living ) とは、日常生活動作を指します。食事、入浴、更衣、移動、排泄など、生活する上で最低限必要な日常的な動作のことであった。</p> <p>今回触れた薬 (ピタバスタチン、ミグリトール、グリメピリド、リベルサス、ジアゼパム、エサンブトール、グレースビット、アンブロキシール、テオフィリン)、肺MAC症の病態について調べる。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>&gt;メトホルミンとCT検査について。 これって、実際には何が問題だと思います？そして、そのまま目の前の患者さんでどんなことが起こると思いますか？</p> <p>&gt;今回触れた薬 病態について調べる。 いつもとても良いですね。ちょっとおまけで考えてみると、これってそれぞれどんな処方意図で出ていると思いますか？あるいは、何を目標に出していると思いますか？単に『知る (想起レベル) 』から『意味づけする (解釈) 』レベルへとあげてみましょう。</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料 (薬剤師)	

# 日誌

日誌 06月05日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.4 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	受付
		受付
	10:00	受付
		受付
	11:00	受付
		服薬指導
	12:00	服薬指導
		休憩
	13:00	休憩
		お知らせ
	14:00	受付
		受付
	15:00	薬歴
		受付
	16:00	日誌
		日誌
	17:00	日誌
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 06月05日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

一包化後の調剤監査で、8錠のところ7錠しか入っていなかった箇所が2つあった。また、PTPシートの破片が混在している箇所もあった。薬をセット後、機械が一包化を行ってくれるので、ヒトが行うより正確さが高いと感じていた。しかし、今回のように、機械によるトラブルもあるので、機械だから安心というわけではないという事実を確認できた。一包化後の調剤監査の不備により、患者さんが亡くなってしまったという事例もあったと教えていただいた。一包化後の監査がどれだけ大事であるかを考えさせられた。

服薬指導の際に、前回処方と変更がなければ、「前回と同じお薬出てますね」と患者さんに話していた。本日、薬剤師の方の服薬指導を聞いてみると、「前回と同じお薬が何ヶ月分ですね」と伝えていた。そのような伝え方もあることを学んだ。

服薬指導は2件担当した。1件目は風邪の患者さんだった。用法用量と効果は伝えられたが、他に確認する内容が思い浮かばなかった。風邪の患者さんの服薬指導は、意外と難しいと実感した。テオフィリンが処方されていたので、「カフェイン飲んでないですか」や、他にも「朝に市販薬を飲みましたか」など確認する項目は意外とあると薬剤師の方に教えていただいた。また、頓服薬も処方されており、1回何錠であるかは患者さんに伝えられた。薬剤師の方に、1日に何回まで飲んでいいのかも伝え方が良いとアドバイスいただいた。2件目は逆流性食道炎の患者さんであり、前回担当した方だった。本日は受付担当だったので、お茶を渡した際に声をかけていただけて嬉しかった。前回処方H2ブロッカーだったが、今回はPPIが処方されていた。H2ブロッカーよりPPIの方が効果が強いと教えていただいたので、H2ブロッカーでは効果が感じられず、処方変更になったと考えられた。

添付文書に改訂があるとお知らせが薬局に届き、その実物を読ませていただいた。変更内容が来局する患者さんに当てはまるのか確認しておくことが重要であると教えていただいた。

# 日誌

日誌 06月05日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 06月05日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>本日、一包化は行っていないが、一包化の調剤監査不備の話聞き、次回以降一包化を行う場合、調剤監査をいつも以上に意識して行う。機械だから安全という先入観を持って行ってはいけない。</p> <p>高血圧や糖尿病の患者さんの服薬指導を担当することが多かったので、風邪の患者さんに対する確認事項が思い浮かばなかった。朝に市販薬を飲んでいないかなど、いくつか確認項目を教えていただいたので、実践していきたい。頓服薬に関しては、1日にいくつまでという内容を伝えるよう意識する。</p> <p>今回、服薬指導で触れた薬(カルボシステイン、デキストロメトルファン、クラリスロマイシン、テオフィリン、タケキャブ、イルソグラジン)について、添付文書を確認する。また、逆流性食道炎の患者さんに2度も関わったので、逆流性食道炎について調べる。タケキャブについては、ピッキングする際に何回を触れているが、毎回どんな薬なのか思い出せなかった。今回、服薬指導で関わったので、忘れないようにする。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>&gt;一包化後の調剤監査の不備により、患者さんが亡くなってしまったという事例もあったと教えていただいた。一包化後の監査がどれだけ大事であるかを考えさせられた。</p> <p>まあ、ただ、元をたどると充填時のヒューマンエラーなんですよ。(今回のエラーも私が手順を端折ったことがその一端ですし。)</p> <p>通常ヒューマンエラーはこの割合でミスが起こるとは断言できないですが、一方で、機械エラーはほぼ発生割合が決まっています。</p> <p>さあ、どんな対策を考えますか？</p> <p>ちょっと難しいかもしれませんが、受付の対応時に患者さんと何も無しで話してみるのも面白いかもしれません。どんな声掛けができるか、、、？</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 06月06日                      東邦大学                      学籍番号( 1021166                      )                      氏名( 中崎 優奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.5 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	調剤
		調剤
	11:00	調剤
		調剤
	12:00	休憩
		休憩
	13:00	調剤
		調剤
	14:00	調剤
		調剤
	15:00	調剤
		服薬指導
	16:00	薬歴
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(2)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 06月06日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

午前中は、ピッキングを実施した。今日だけでも多くの薬に触れた。触れた薬の中には何回か集めたものがあったので、これはどんな薬なのか、1回何錠かなどを考えながら、集められた薬も少し増えてきた。反対に、1回も触れたことの無い薬もあった。アローゼン顆粒やミヤBM錠、リパクレオン顆粒、ボラザG坐剤などが当てはまる。薬を集めた際に、PTPシートに小さな穴があいていると薬剤師の方から報告を受けた。これは、棚から取る際に、爪が当たってしまい、穴があいたと考えられると教えていただいた。

アドバンスケアプランニングについて教えていただいた。誰かが亡くなった時に、自分の死について考えやすいタイミングだと教えていただいた。

テラムロ配合錠からアムロジピンに変更になった処方箋があった。テラムロ配合錠には、テルミサルタンとアムロジピンが含まれている。2剤から単剤に変更になっているので、血圧の数値が下がってきたと考えられる。この考えを、処方箋を受け取り、ピッキングしながら考えられることを目指して欲しいと教えていただいた。

小児在宅の処方の薬を集めていたが、薬の種類やそれぞれの個数も多く大変だった。小児在宅を行うには、高いレベルが必要であると実感した。

指導薬剤師の方が担当した服薬指導で、デエビゴが処方されていた。なぜ患者さんは寝たいのかを考えてみることを教えていただいた。睡眠は、寝なければならぬと思いつつ寝るのではなく、気づいたら寝ている状態が良い。薬に頼って睡眠を取るのではなく、可能であるならば、自然と睡眠が取れるようになっていくのが望まれる。そのように指導するのも薬剤師としてできることだと教えていただいた。

服薬指導は風邪の患者さんを担当した。昨日に引き続き風邪の患者さんを担当したので、風邪薬の説明は少し慣れてきたと感じている。

水に濡らしたティッシュの上に、マグミット錠を置いた様子を観察した。ティッシュの上に置いた瞬間、錠剤が大きく広がっていた。触てみると、サラサラした粉のような感触だった。懸濁の際に、粉ではなく、錠剤の方が適しているものもあることを学んだ。

# 日誌

日誌 06月06日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 06月06日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>薬を集める際に、自分の爪でわずかな穴をあけてしまうこともあることを学んだので、この事実を頭に入れておく。</p> <p>マグミット細粒83%(0.4/包)の成分量を求める計算に時間がかかった。100g中に83g入っている。1g中に置き換えると、0.83gである。つまり、1g中に830mgである。では、0.4gあたりにどのくらいの量が含まれているか。比例式で考えてきたので、紙とペンがないと計算できません。また、時間もかかってしまいます。</p> <p>終了時間前に、アセチルシステインとアセリオについて教えていただいたので、添付文書を確認する。</p> <p>風邪の服薬指導が、やりやすいようで難しいと感じた。風邪全般の症状がある方もいれば、喉の痛みだけの方もいる。のどが痛いのに、患者さんとたくさん会話をするのは、患者さんの立場を考えると、話したくないだろうなと感じる。そのため、手短かに説明すればいいと思うが、薬局は薬をもらうだけと捉えられそうである。考えれば考えるほど、わからなくなってきています。</p> <p>アゼルニジピンからベニジピンに変更になった処方箋があったが、薬剤師の方に血圧が下がってきていると教えていただいたが、理由がわからないので明日伺う。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>&gt; アドバンスケアプランニング これは、応用して、『誰の』死について考えるのか？ですね。</p> <p>&gt; 1g中に830mgである。では、0.4g 比例、、、単純に830に0.4かけてみては？</p> <p>&gt; 風邪の服薬指導が、やりやすいようで難しいと感じた。風邪全般の症状がある方もいれば、喉の痛みだけの方もいる。のどが痛いのに、患者さんとたくさん会話をするのは、患者さんの立場を考えると、話したくないだろうなと感じる。そのため、手短かに説明すればいいと思うが、薬局は薬をもらうだけと捉えられそうである。考えれば考えるほど、わからなくなってきています。</p> <p>素晴らしい！ 視点が着実に変わってきてますね！ その調子で『役に立つ』服薬指導考えてみてください！</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 06月07日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
		調剤
	10:00	調剤
		調剤
	11:00	服薬指導
		服薬指導
	12:00	服薬指導
		休憩
	13:00	休憩
		薬歴
	14:00	薬歴
		薬歴
	15:00	薬歴
		服薬指導見学
	16:00	日誌
		日誌
17:00	日誌	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(2)名、糖尿病(2)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 06月07日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

服薬指導を3件担当した。1件目は、マグミットとモビコールが1日2回服用ところ、1日1回に変更されていた。「飲む回数が減っていますね」、「お通じの方はどうですか」と質問した。この患者さんは、血圧は高いと言っていた。マグミットを服用すると、体の中で塩ができるため、マグミットにより、血圧が高くなっているとも考えられると教えていただいた。また、お通じに問題がなければ、2剤から単剤に変更していても良いのではないかと教えていただいた。

2件目は、フェブキソスタットが処方されていた。お薬手帳を確認すると、整形外科を受診していたことがわかったので、受診理由を伺った。粉瘤が首の後ろにあり、痛いので受診したとおっしゃっていた。「今も痛いですか」と質問した。この質問ができたことは少し成長していると実感した。フェブキソスタット繋がり、痛風について学んだ。好発部位や痛風発作時に血清尿酸値を変動させると発作の増悪を認めることが多いため、用量を変更しないことを確認した。

3件目は、認知症・高血圧・糖尿病の治療薬が処方されていた。血圧や血糖値について伺うことができなかったため、次回伺うと薬歴に書いた。予想される答えとして、数値がわからないと考えられる。糖尿病治療ガイドラインより、高齢者の血糖コントロールの目標値が、認知機能の程度により分類されている。低血糖の症状として、冷や汗、動悸、手足の震えである。認知機能の低下により、患者自身がこの症状に気づけない可能性が高いので、下限値が設定されているカテゴリーがあることを教えていただいた。

吸入剤の使い方を説明している服薬指導を見学した。説明書についているバーコードからでも使い方を確認できることを伝えていた。

服薬指導の他に、調剤や受付を実施した。

# 日誌

日誌 06月07日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 06月07日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>服薬指導が終了した時には、聞きたい内容を伺えたと思っているが、薬歴を書いている際に、この内容について質問すれば良かったと感じる時があった。服薬指導する前に、その内容を薬歴から読み取れるようになりたい。</p> <p>高尿酸血症や痛風について振り返る機会があった。この疾患はよく国家試験で出題されやすい内容なので、もう1度講義資料を確認する。また、糖尿病と認知機能の結びつきが繋がってきたので、こちらも講義資料を振り返る。</p> <p>トラゼンタ、モビコール、ナディック、テルチア配合錠AP、ジクロフェナク、グリメピリドについては、アムロジピンやロスバスタチンなどと比較して、あまり触れた回数が少なく、ピックアップする際に効果がわからなかったなので、添付文書を確認する。</p> <p>メトホルミンとメマンチンが本日処方されていた。この2つの薬は、よく処方されるうちの1つであるが、毎回ピックアップする際にどのような薬なのか思い出せない。何回も確認しても覚えにくい。覚えられるまで、確認し続ける。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>＞ 血圧が高くなっているとも考えられる やや話が飛躍しすぎてるかな？減塩を強いられてるかもしれない患者さんへどう考えるのか？ですね。</p> <p>＞ 服薬指導が終了した時には、聞きたい内容を伺えたと思っているが、薬歴を書いている際に、この内容について質問すれば良かったと感じる時があった これ、私も、今でもあります。やや悔しくなりますが、自分を成長させてくれると思います！ 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 06月08日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.6 良好	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 06月08日                      東邦大学                      学籍番号( 1021166                      )                      氏名( 中崎 優奈                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

# 日誌

日誌 06月08日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 06月08日

東邦大学

学籍番号( 1021166 )

氏名( 中崎 優奈 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	